

平成22年度  
大阪市障害者等基礎調査

高次脳機能障害用（調査票D）

【単純集計結果】

～速報版～

【注】 速報版につき、数値等について今後修正する可能性がある。

【注】 本表は単純集計結果につき、係数補整などの統計処理を経た最終版と数値等が異なる可能性がある。

問1 (1) お住いの区

調査数	北区	都島区	福島区	此花区	中央区	西区	港区	大正区	天王寺区	浪速区	西淀川区	淀川区	東淀川区	東成区	生野区	旭区	城東区	鶴見区	阿倍野区	住之江区	住吉区	東住吉区	平野区	西成区	大阪市以外	無回答
109	1	1	0	1	1	0	4	5	1	5	1	13	8	1	3	5	4	6	1	4	8	5	14	2	15	0
100%	1%	1%	0%	1%	1%	0%	4%	5%	1%	5%	1%	12%	7%	1%	3%	5%	4%	6%	1%	4%	7%	5%	13%	2%	14%	0%

問1 (2) 性別

調査数	男性	女性	無回答
109	68	31	10
100%	62%	28%	9%

問1 (3) 年齢

調査数	0歳から5歳の間	6歳から17歳の間	18歳から19歳の間	20歳から29歳の間	30歳から39歳の間	40歳から49歳の間	50歳から59歳の間	60歳から64歳の間	65歳から69歳の間	70歳から74歳の間	75歳以上	無回答
109	0	0	5	7	6	12	26	14	9	24	6	0
100%	0%	0%	5%	6%	6%	11%	24%	13%	8%	22%	6%	0%

問1 (4) 障害が発生(判明)した時期の年齢

調査数	0歳から5歳の間	6歳から17歳の間	18歳から19歳の間	20歳から29歳の間	30歳から39歳の間	40歳から49歳の間	50歳から59歳の間	60歳から64歳の間	65歳から69歳の間	70歳から74歳の間	75歳以上	い発生(判明)はしていない	わからない	無回答
109	15	0	2	11	9	20	13	10	7	11	2	0	0	9
100%	14%	0%	2%	10%	8%	18%	12%	9%	6%	10%	2%	0%	0%	8%

問1 (5) 障害手帳の等級(種類)

調査数	身体障害者手帳1級	身体障害者手帳2級	身体障害者手帳3級	身体障害者手帳4級	身体障害者手帳5級	身体障害者手帳6級	療育手帳A	療育手帳B1	療育手帳B2	1級精神障害者保健福祉手帳	2級精神障害者保健福祉手帳	3級精神障害者保健福祉手帳	い障害者手帳は持っていない	無回答
118	27	16	2	7	0	2	9	2	1	0	6	6	22	18
100%	23%	14%	2%	6%	0%	2%	8%	2%	1%	0%	5%	5%	19%	15%

問1 (6) ①障害の種類(部位)

調査数	視覚障害(目が不自由)	聴覚障害・平衡機能障害(耳が不自由)	音声・言語・そしゃく機能の障害(声が出ない、ものがかめない)	肢体不自由(手や足が不自由)	内部障害(心臓)	内部障害(腎臓)	内部障害(呼吸器)	内部障害(ぼうこう又は直腸)	内部障害(小腸)	内部障害(免疫機能障害)	内部障害(肝臓)	無回答
122	2	3	22	47	0	1	2	1	0	2	2	40
100%	2%	2%	18%	39%	0%	1%	2%	1%	0%	2%	2%	33%

問1(6) ②主になると思われる障害

調査数	視覚障害（目が不自由）	聴覚障害（耳が不自由） （平衡機能障害）	音声・言語・しゃやく機の障害（声が出ない、ものがかめない）	肢体不自由（手や足が不自由）	内部障害（心臓）	内部障害（腎臓）	内部障害（呼吸器）	内部障害（ぼうこう又は直腸）	内部障害（小腸）	内部障害（免疫機能障害）	内部障害（肝臓）	無回答
54	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	36
100%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	67%

問1(7) 障害程度区分

調査数	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	申請したが非該当だった	申請していない	無回答
109	0	2	9	5	1	3	0	24	65
100%	0%	2%	8%	5%	1%	3%	0%	22%	60%

問1(8) 障害福祉に関するサービスを利用しているか

調査数	利用している	利用していない	無回答
109	53	29	27
100%	49%	27%	25%

問1(9) ①平成21年度中の収入

調査数	賃金や給料	自営業による収入	作業所等からの工賃	障害年金	老齢年金	生活保護費	障害に関する各種手当	その他の収入	収入はなかった	無回答
124	13	2	1	24	27	9	3	4	20	21
100%	10%	2%	1%	19%	22%	7%	2%	3%	16%	17%

問1 (9) ②主なものは

調査数	賃金や給料	自営業による収入	作業所等からの工賃	障害年金	老齢年金	生活保護費	障害に関する各種手当	その他の収入	収入はなかった	無回答
109	1	1	0	5	2	5	0	1	0	94
100%	1%	1%	0%	5%	2%	5%	0%	1%	0%	86%

問1 (10) 平成21年度中の収入額

調査数	0円(収入はなかった)	1円以上50万円未満	50万円以上100万円未満	100万円以上200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上1000万円未満	1000万円以上	わからない	無回答
109	28	0	19	22	14	6	3	0	1	3	13
100%	26%	0%	17%	20%	13%	6%	3%	0%	1%	3%	12%

問1 (11) 同居しているひとは

調査数	誰もいない	配偶者(夫や妻)	子ども	親	祖父母や孫	きょうだい	グループホームやケアホームで同居	その他	無回答
136	18	42	23	29	1	11	1	4	7
100%	13%	31%	17%	21%	1%	8%	1%	3%	5%



問2(4) 一般就労をしていない理由

調査数	自分ができると思う職場がないため	生活に必要な額の給料が得られる職場がないため	自宅に近いなど通勤が可能なところにある職場がないため	通勤の介助に関する支援を受けられない	在宅で就労できるものが見つからないため	短時間労働など働きたい時間が選べる職場がないため	有給休暇など休みが取りやすい職場がないため	障害のある社員が多い職場がないため	障害のことについて相談対応する人ができない	視覚・聴覚障害その他の障害に配慮していないため コミュニケーション支援を受け	住居の確保などの生活上の支援を受けていない	就労支援関係の事業所からの支援を受けていない	ジョブコーチを受けていないため	就労に必要と思う知識や技能や資格を習得していないため	育児や介護を含む開示の負担があるため	家族などの理解を得られないため	一般就労したいという気力をもてないため	病状や症状に波があつて不安定なためを含む	年齢のため(定年等)	その他	わからない	無回答	
22	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	7	0	0	0	4	0	4	1	0	0
100%	14%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	0%	0%	0%	9%	32%	0%	0%	0%	18%	0%	18%	5%	0%	0%

問2(5) ①(2) で2選択の場合一般就労を目指す場合に必要と思うこと

調査数	自分ができると思う作業内容の職場	生活に必要な額の給料が得られる職場	自宅に近いなど通勤が可能なところにある職場	通勤の介助に関する支援	在宅で就労できること	短時間労働など働きたい時間が選べる職場	有給休暇など休みが取りやすい職場	障害のある社員が多い職場	障害のことについて相談対応する人ができない	視覚・聴覚障害その他の障害に配慮したコミュニケーション支援	住居の確保などの生活上の支援	就労支援関係の事業所からの支援	ジョブコーチを受けること	就労に必要と思う知識や技能や資格の習得	育児や介護を含む家事の負担の軽減	家族などの理解	一般就労したいという気力	健康になること(病状や症状に波があるなど不安定な状態の解消を含む)	その他	わからない	無回答
44	10	2	2	1	0	1	1	1	9	0	0	0	1	5	0	1	0	6	0	2	2
100%	23%	5%	5%	2%	0%	2%	2%	2%	20%	0%	0%	0%	2%	11%	0%	2%	0%	14%	0%	5%	5%

問2(5) ②主なもの

調査数	自分ができると思う作業内容の職場	生活に必要な額の給料が得られる職場	自宅に近いなど通勤が可能なところにある職場	通勤の介助に関する支援	在宅で就労できること	短時間労働など働きたい時間が選べる職場	有給休暇など休みが取りやすい職場	障害のある社員が多い職場	障害のことについて相談対応する人ができない	視覚・聴覚障害その他の障害に配慮したコミュニケーション支援	住居の確保などの生活上の支援	就労支援関係の事業所からの支援	ジョブコーチを受けること	就労に必要と思う知識や技能や資格の習得	育児や介護を含む家事の負担の軽減	家族などの理解	一般就労したいという気力	健康になること(病状や症状に波があるなど不安定な状態の解消を含む)	その他	わからない	無回答
16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5	0	0	9
100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	12%	0%	0%	0%	31%	0%	0%	56%

問2(6) 一般就労することができたのはなぜだと思うか

調査数	経験を活用できるなど自分ができる と思う職種や作業内容の職場があったから	生活に必要な額の給料が得られる職場があったから	自宅に近いなど通勤が可能なお仕事がある職場があったから	通勤の介助に関する支援を受けたから	在宅で就労できたから	短時間労働など働きたい時間を選べる職場があったから	有給休暇など休みが取りやすい職場があったから	障害のある社員が多い職場があったから	障害のことがついて相談対応することができたから	視覚・聴覚障害その他の障害に配慮したコミュニケーション支援を受けたから	住居の確保などの生活上の支援を受けたから	就労支援関係の事業所からの支援を受けたから	ジョブコーチを受けたから	就労に必要な知識や技能や資格の習得ができたから	育児や介護を含む家事の負担の軽減ができたから	家族などの理解が得られたから	力があつたから	健康になつたから(病状や症状に波があるなどの不安定な状態の解消を含む)	年齢のため(学校を卒業して就労することになつたからなど)	その他	わからない	無回答
18	1	5	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	1	1
100%	6%	28%	6%	0%	6%	6%	11%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11%	11%	6%	0%	0%	6%	6%

問2(7) 過去1年いない以下の項目を経験したり利用したか

調査数	公園に行ったり、散歩をしたこと	スーパーやコンビニエンスストア等での買い物	鑑賞やテレビ、映画等の鑑賞	図書館、映画館、パチンコ等のレジャー施設の利用	遊園地、映画館、パチンコ等のレジャー施設の利用	ハイキングや旅行	スポーツ活動	学習活動(本で勉強をしたり、何かを観察して調べたりすること)	パソコン、インターネット	将棋、工作、絵画などの各種文化活動	ボランティア活動	障害者団体などの活動	その他の活動	活動したいと思うができない	活動したいとは思わない	無回答
277	39	54	37	11	11	12	14	13	22	7	2	3	7	18	6	32
100%	14%	19%	13%	4%	4%	4%	5%	5%	8%	3%	1%	1%	3%	6%	2%	12%

問3 (1) 交通事故などで脳血管疾患になったことについて

調査数	交通事故で頭を強打したことがある	交通事故以外で頭を強打したことがある	脳血管疾患になったことがある	無回答
112	23	5	48	36
100%	21%	4%	43%	32%

問3 (2) (1) の出来事があった時期

調査数	0歳から5歳の間	6歳から17歳の間	18歳から19歳の間	20歳から29歳の間	30歳から39歳の間	40歳から49歳の間	50歳から59歳の間	60歳から64歳の間	65歳から69歳の間	70歳から74歳の間	75歳以上	無回答
111	7	2	2	12	6	15	11	3	6	10	2	35
100%	6%	2%	2%	11%	5%	14%	10%	3%	5%	9%	2%	32%

問3 (3) 高次脳機能障害のことで現在、困っていること

調査数	体の機能に障害が残った	体が調をくづしやすくなった	記憶することが困難になった	た 就学や就労が困難になった	その他	特にない	無回答
190	56	13	50	29	12	2	28
100%	29%	7%	26%	15%	6%	1%	15%

問3 (4) はじめに、高次脳機能障害の可能性を感じたり、気づいた人は誰か

調査数	家族	自分(あなた)	友人や知人	医療機関(医師に言われて、はじめてわかった)	その他	無回答
132	51	11	7	37	2	24
100%	39%	8%	5%	28%	2%	18%

問3 (5) 医療機関で、高次脳機能障害かどうかの診断を受けたか

調査数	診断を受けた	定が今は診断を受けていない(今後診断を受ける予定はない)	診断を受けていない(今は)	無回答
109	62	0	9	38
100%	57%	0%	8%	35%

問3 (6) (5) で1選択の場合診断結果について

調査数	高次脳機能障害ではないと診断された	高次脳機能障害の疑いと診断された	高次脳機能障害と診断され	無回答
62	0	6	48	8
100%	0%	10%	77%	13%

問4 (1) ①障害者施策全般について望むこと

調査数	実 日中活動の場の 充実	ホームヘルプサービスの 充実	ショートステイサービスの 充実	障害者雇用施策の充実	パーソナルアシスタント (介助や支援をして くれる人を自ら選 択できる)	復学や復職する ための支援	外出時の支援 (ガイドヘルプ)	交通機関やバリアフリー	暮らしやすい住宅の整備 (住宅のバリアフリー)	グループホーム、ケア ホームの充実	相談支援事業の充実	生活全般としての情報提 供の充実	視覚や聴覚など	医療、リハビリテーショ ンの機能の充実	地域リハビリテーション の充実	通院時の介助	所得の保証	周囲の人の障害に関する 理解の促進	障害福祉サービスの利用 者負担の軽減	高齢、介護保険サービスの 利用者負担の軽減	障害のある高齢者への支 援の充実	訓練施設の充実	権利擁護や後見人制度の 充実	地域移行支援施策の充 実、社会的入院解消の充 実	その他	特 に な い	無 回 答
440	17	21	7	16	12	11	15	20	21	12	15	11	2	42	18	11	22	16	20	24	31	25	6	6	2	3	34
100%	4%	5%	2%	4%	3%	2%	3%	5%	5%	3%	3%	2%	0%	10%	4%	2%	5%	4%	5%	5%	7%	6%	1%	1%	0%	1%	8%

問4 (1) ②主なもの

調査数	実 日中活動の場の 充実	ホームヘルプサービスの 充実	ショートステイサービスの 充実	障害者雇用施策の充実	パーソナルアシスタント (介助や支援をして くれる人を自ら選 択できる)	復学や復職する ための支援	外出時の支援 (ガイドヘルプ)	交通機関やバリアフリー	暮らしやすい住宅の整備 (住宅のバリアフリー)	グループホーム、ケア ホームの充実	相談支援事業の充実	生活全般としての情報提 供の充実	視覚や聴覚など	医療、リハビリテーショ ンの機能の充実	地域リハビリテーション の充実	通院時の介助	所得の保証	周囲の人の障害に関する 理解の促進	障害福祉サービスの利用 者負担の軽減	高齢、介護保険サービスの 利用者負担の軽減	障害のある高齢者への支 援の充実	訓練施設の充実	権利擁護や後見人制度の 充実	地域移行支援施策の充 実、社会的入院解消の充 実	その他	特 に な い	無 回 答
109	1	3	0	6	0	2	1	1	3	1	0	0	0	11	2	0	8	2	1	5	6	4	0	0	0	0	52
100%	1%	3%	0%	6%	0%	2%	1%	1%	3%	1%	0%	0%	0%	10%	2%	0%	7%	2%	1%	5%	6%	4%	0%	0%	0%	0%	48%

問4 (3) この調査票の記入者

調査数	あなた(本人)がひとり	本人に聞きながら、家族	本人の意向を考えながら (想像しながら)、家族	無 回 答
109	13	33	40	23
100%	12%	30%	37%	21%